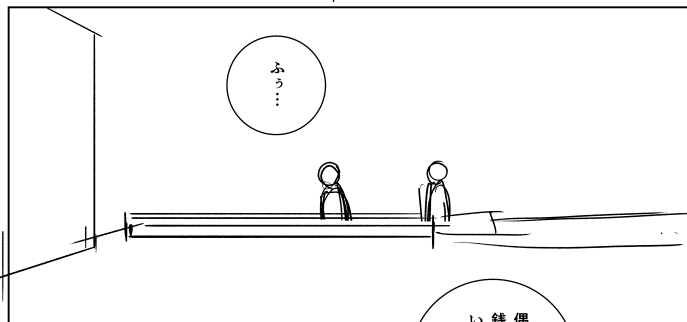
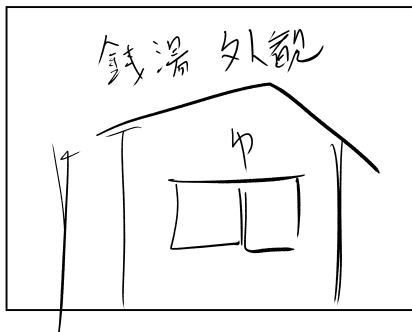
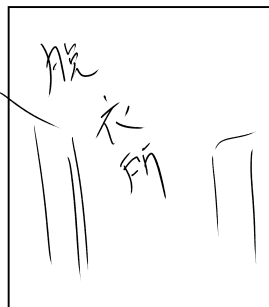
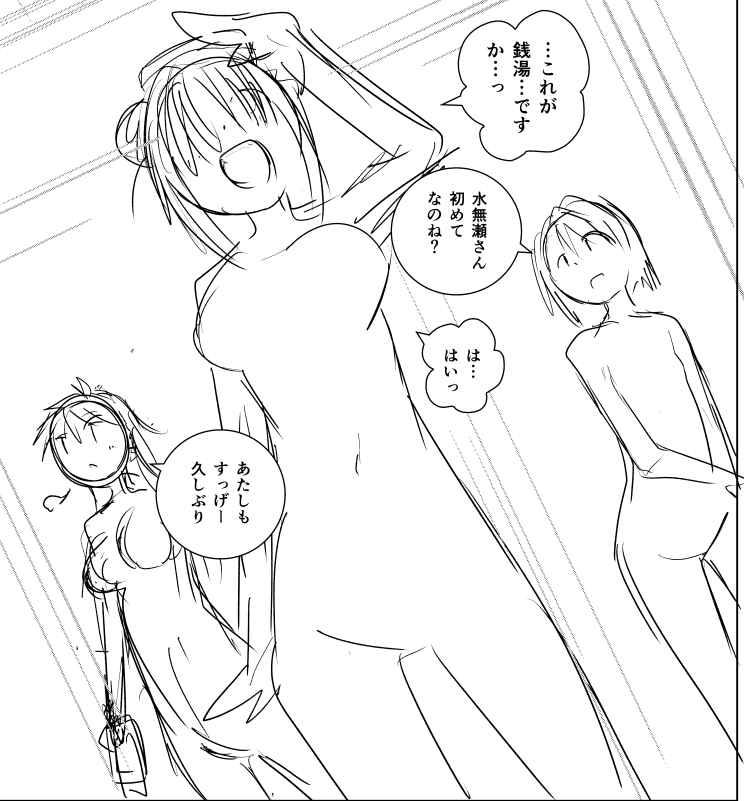








ア・ン・タ
があ……!

盛大に
ゲロったから
だろーう!

そう……
俺たちは
放課後に
体育祭の特訓を
していたで

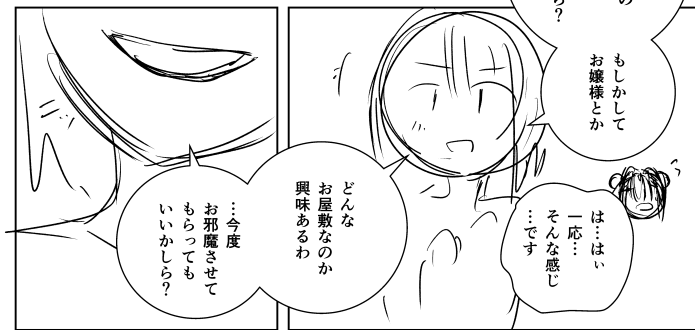
体力の無い
水無瀬さんは
またうっかり
運動しすぎた
その結果――

う……!

おう吐……

しかも
被害は
ほぼ全員に

龍将の提案で
せっかくだから
銭湯へ
行くことになり
現在に至る

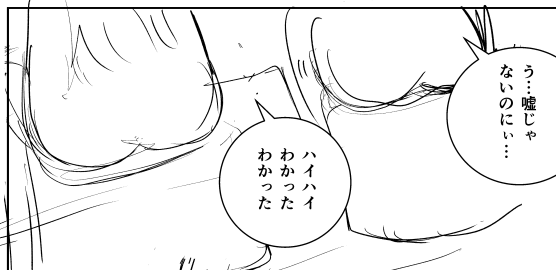




う…嘘じゃ
ないです…
よっ!!

はんっ…
ナイナイ!
そんな見栄
はんなって

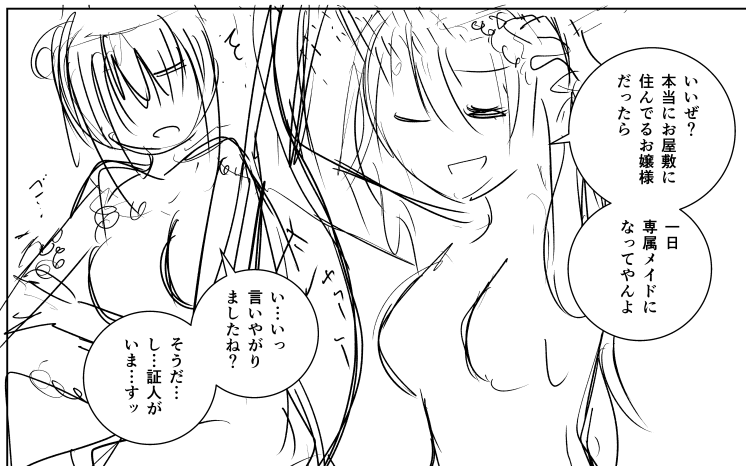
ね?



う…嘘じゃ
ないのに…

ハイハイ
わかった
わかった

背負わねー



いいぜ?
本当にお屋敷に
住んでるお嬢様
だったら

一日
専属メイドに
なってやんよ

い…いっ
言いやがり
ましたね?

そうだ…
し…証人が
いま…すッ



大兄いいいい！
どういうことだ
コラ あああ！！

向こうには
小鳥遊さんも
いる……！
ここは素直に……

今日と
同じだ！！

水無瀬さんの
スブラッシュを
浴びて
しまってた

た……
小鳥遊さんも
その場に
いたぞ！

……
本当？

ええ
そうね

……ただ……

水無瀬さんと
追いかけてこ
してみたい

大兄いい！

つか
大ちゃん
マジかよ

ミ

口
妙

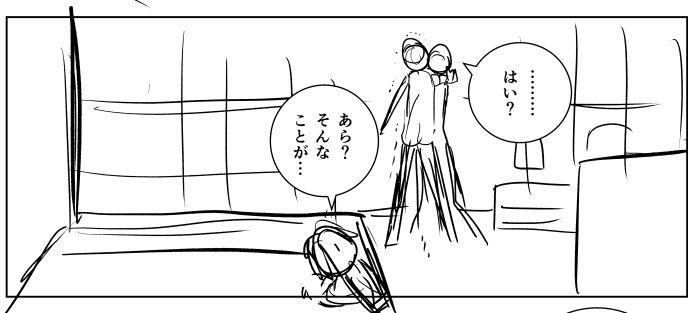
お前に
不良を任せて
逃げただろ？
あの時だ

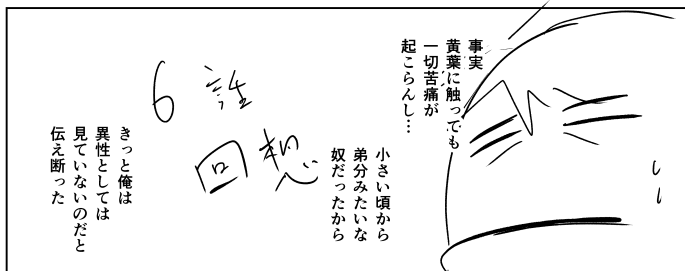
やっぱ
変だ！

お前…大兄と
どーゆー関係か
白状しろ！

なななんで
そんなに…
気にするん
です…かッ？

水無瀬ちゃん
仕方ねーん
だわ





事実
黄葉に触っても
一切苦痛が
起こらんし…

小さい頃から
弟分みたいな
奴だったから

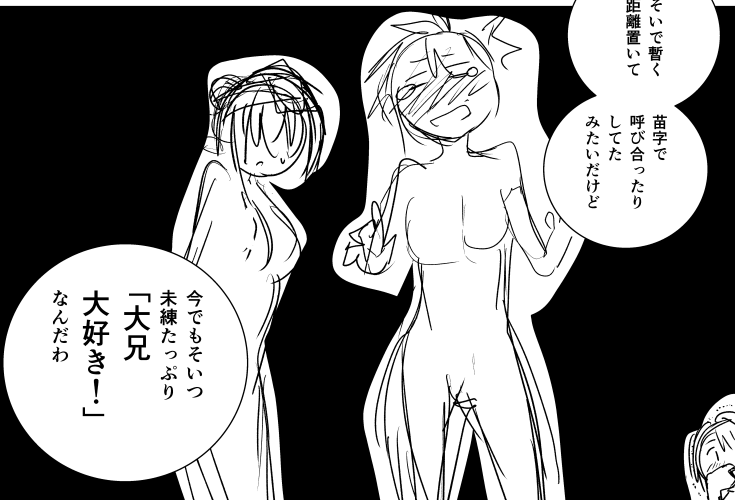
6話
回想

きつと俺は
異性としては
見ていないのだと
伝え断った



その後で
好意を寄せた
異性ほど
苦痛が強くなると
知ったわけで

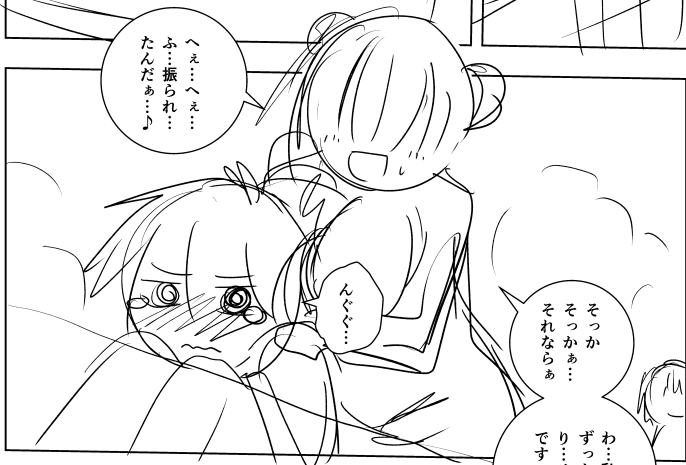
俺の
判断自体は
間違っ
ていな
かった
と
思うが……

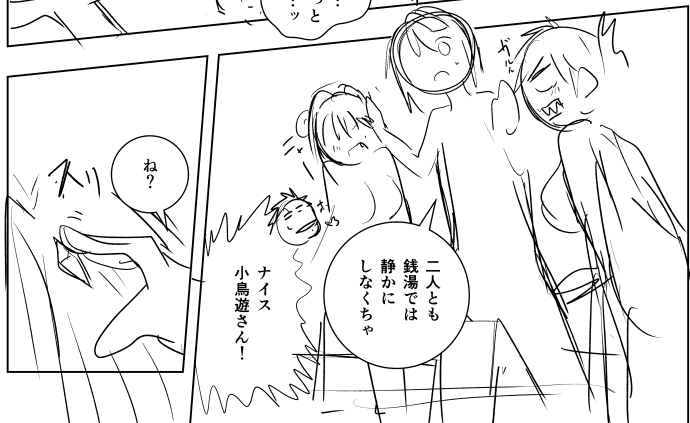
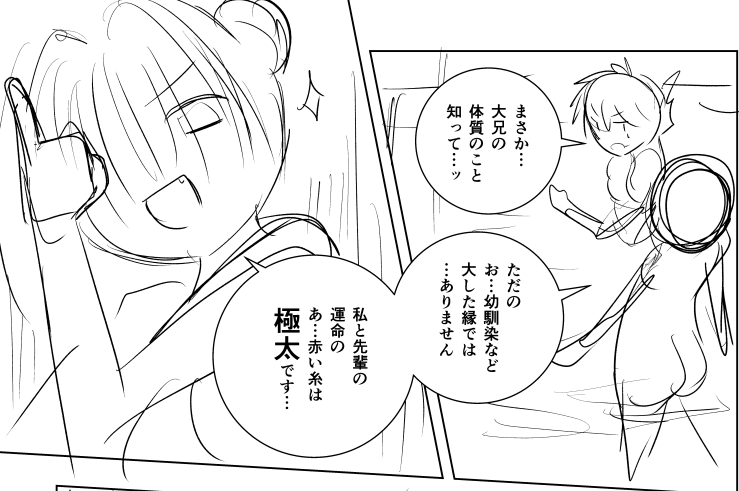


そいで暫く
距離置いて

苗字で
呼び合ったり
してた
みたいだけど

今でもそいつ
未練たっぶり
「大兄
大好き！」
なんだわ





ふあんっ♥

あら…?
どうしたの
かしら?

小鳥遊…
せんば…んう
そこ…さわ…
さ…にやんっ

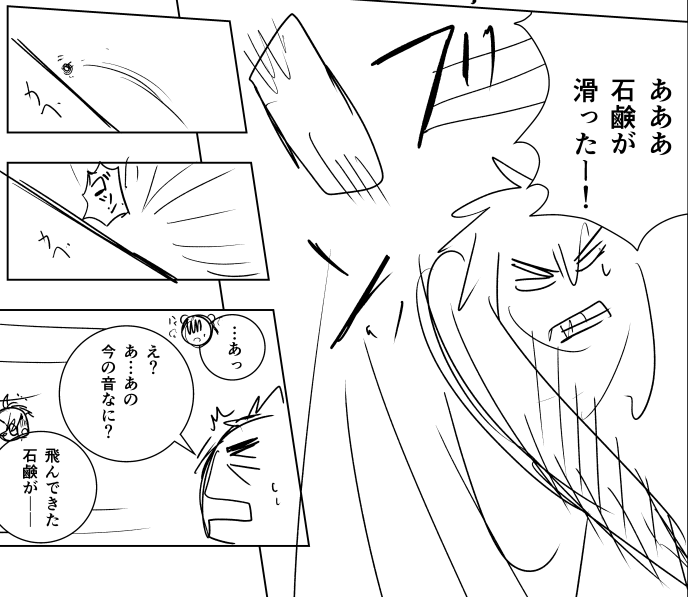
さきっほ
ツンツン
スリスリ…って
ひいああ♥

ん?
なんか頭に
ついてんぞ?

隣の女子連中
エロいこと
始めてないか?

いや…違う…
頭って…
まさか!

水無瀬さん
ツノの部分
触られて
るのか!?



部長先輩の
脳天に
直撃した…

しましたっ



部長先輩
大丈夫っ!?

水無瀬!
湯船から
引き上げるから
アンタも
手伝え!

アンタも
手伝え！

ふえ…は
はい！



あああああ
やっちゃまった

